基本計画

第１章　魅力ある郷土をほこれるまち …… 14

第２章　市民と行政が協働するまち …… 20

第３章　みんなで創る安全なまち …… 32

第４章　だれもが安心して健康に暮らせるまち …… 46

第５章　自然の豊かさがあふれるまち …… 60

第６章　活力ある産業が育つまち …… 68

第７章　便利で快適な人にやさしいまち …… 80

第８章　地域に根ざした教育・文化のまち …… 100

第９章　効率的でわかりやすい行財政 …… 114

第 10 章　リーディング・プロジェクト …… 122

熊谷草



熊谷染



第1章　魅力ある郷土をほこれるまち

施策 1　全国に発信できる特色をつくる

前期基本計画での取組状況

熊谷ブランドとして、「あついぞ！熊谷」を象徴するかき氷「雪くま」や国内有数の生産量を誇る小麦を使った「熊谷うどん」を各地B級グルメ大会等のイベントに出展して、その知名度を全国に発信しました。さらに、日本一暑いまちのアピールとその暑さをクールダウンして快適に過ごせる事業の一環として、熊谷の伝統工芸である「熊谷染」日傘の販売を行いました。その他の事業としては、熊谷ＰＲ映画や民間観光情報誌の手法によるガイドブックの作成、及び「熊谷フィルムコミッション」を設立しました。

グライダー振興事業では、市有グライダー搭乗会、グライダーフェスタ開催及び大学等の各グライダー競技会の支援を行っています。

現状と課題

「雪くま」に代表される地域特性や地域特産品を利用した商品の開発とそれによる情報発信に努めています。また、「熊谷うちわ祭」等の各種伝統行事等の運営に対し、熊谷市観光協会と連携し、引き続き集客に努めています。

平成 24 年 7 月には妻沼聖天山の本殿である「歓喜院聖天堂」が国宝に指定され、全国に発信できる本市の大きな魅力が加わりました。

今後は、「暑さ」に代表される地域特性や地域産品、国宝「歓喜院聖天堂」などの歴史的建造物等の資源を活用し、市民・事業者と一体となって引き続き魅力ある郷土を誇れるまちをつくる必要があります。



国宝「歓喜院聖天堂」

基本方針

豊かな自然や伝統的な匠の技が育んだ魅力ある名産品や、新たに生み出した産品等による情報発信により、熊谷を全国に発信します。

施策の体系

全国に発信できる特色をつくる ―― 1　知名度の高い産品をつくる

単位施策

1　知名度の高い産品をつくる

熊谷の誇れるものや産品をマスメディア等を利用して広告・宣伝し、全国に発信できる特色として確立させるとともに、活用していきます。

主な事業

- 熊谷ブランド物産事業
- 「あついぞ！熊谷」事業
- ヒートアイランド対策事業
- 観光行事推進事業
- グライダー振興事業



成　果　指　標	前期基本計画策定時の現状値	前期めざそう値	現状値	後期 めざそう値（前期基本計画でのめざそう値 10 年後）
熊谷市が全国に誇れるものの数	50	60	56	70 （70）
「雪くま」を知っている市民の割合	56%	80%	88%	95% （95%）



市有グライダー「めぬま号」



熊谷夏の名物「雪くま」

施策 2　歴史再発見のまちを推進する

前期基本計画での取組状況

本市の観光の中心である「熊谷さくら祭」、「熊谷うちわ祭」、「熊谷花火大会」を実施して、市内外から多くの集客を図りました。また、本市の隠れた魅力を広く知っていただくため周遊コースを作成して「駅からハイキング」を実施しました。

妻沼聖天山「歓喜院聖天堂」が大改修を終えて、平成 23 年 6 月に一般公開が始まりました。この完成に合わせて、「めぬま観光駐車場」の整備、「聖天山お客様お迎えトイレ」の新設及び周辺案内板の設置などを行い、利便性の向上を図りました。

現状と課題

本市は、国宝「歓喜院聖天堂」を有する「妻沼聖天山」をはじめ、「文殊寺」、「宮塚古墳」、「平山家住宅」、「根岸家長屋門」などの貴重な文化遺産のほか、「熊谷次郎直実」、「荻野吟子」などの先人・偉人、さらには「熊谷うちわ祭」に代表される伝統的なまつりや行事などの歴史に裏打ちされた多様な観光資源を有しています。

現状では、個別の文化遺産やまつりでの情報発信と集客は一時的であり、その効果も限定的となっています。

今後は、熊谷市観光協会と連携し、「熊谷うちわ祭」や「熊谷花火大会」などの伝統的な行事での情報発信と集客を引き続き推進するとともに、国宝となった「歓喜院聖天堂」を中心に、年間を通しての誘客と市内の他の文化遺産や名所への回遊等、交流人口の増加による地域の活性化を図る必要があります。


関東一の祇園「熊谷うちわ祭」


さくら名所 100 選「熊谷桜堤」


熊谷花火大会

基本方針

「熊谷うちわ祭」などの各種まつりの一層の充実、振興を図るとともに、国宝「歓喜院聖天堂」などの郷土の魅力を有効活用し、情報発信に努め、さらには、熊谷市観光協会の充実を促し、観光交流の推進による地域の活性化を図ります。

施策の体系

歴史再発見のまちを推進する ―― ２　地域の文化や観光資源を活用する

単位施策

２　地域の文化や観光資源を活用する

伝統行事である「熊谷うちわ祭」や「熊谷花火大会」など各種まつりの充実に努めるとともに、歴史的建造物の保護や、周辺整備を行い、ネットワーク化を図るなど、既存観光資源を有効に活用します。

主な事業

・観光振興事業
・観光行事推進事業
・ウエルカム熊谷観光事業

成　果　指　標	前期基本計画策定時の現状値	前期めざそう値	現　状　値	後期 めざそう値（前期基本計画でのめざそう値 10 年後）
観光入込客数[注1]	4,104 千人	4,700 千人	3,195 千人	3,500 千人（5,200 千人）↘


根岸家長屋門


平山家住宅（国指定重要文化財）

注１　**観光入込客数**：暦年の数値である。平成23年分から観光入込客数の把握基準が変更され、日常利用者が大半を占める観光施設や5,000人未満のイベント等が、集計の対象外となったため大幅に減少している。現状値は、平成23年分（23.1.1～23.12.31)の数値である。

施策 3

スポーツによるまちづくりを推進する

前期基本計画での取組状況

前期基本計画においては、『スポーツ・文化に熱中できる場をつくる』の施策として取り組み、“スポーツ熱中都市宣言”のもと(公財)熊谷市体育協会や熊谷市レクリエーション協会、熊谷市スポーツ少年団等の活動を支援することにより、スポーツを「実践」する機会の提供に努めました。

また、市民と地域が連携した手づくりの大会である「熊谷さくらマラソン大会」、「熊谷めぬま駅伝大会」を継続して実施するとともに、日本陸上競技選手権大会の開催をはじめ、「全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会」や「選抜高校女子サッカー大会“めぬまカップ”in 熊谷」など全国レベルの大会の支援により、「応援」、「協力」の場を創出してきました。

さらに、「熊谷市スポーツ振興基本計画」を策定し、体系的・戦略的にスポーツ振興に取り組むとともに、スポーツ部門と観光・産業部門とが連携し、活力ある地域づくり、地域の発展を推進してきました。

現状と課題

市内には、熊谷さくら運動公園や荒川緑地をはじめ、利根川総合運動公園、江南総合公園など、多様なスポーツ施設が整備されています。

特に、熊谷スポーツ文化公園は、熊谷ラグビー場をはじめ、「彩の国まごころ国体」のメイン会場として拡充整備され、開閉会式のほか、陸上、体操、ラグビー競技が行われました。

また、市民のスポーツ活動を育成支援するための拠点施設として、スポーツ・文化村の整備を進めています。

国体以降も、ラグビーのトップリーグや全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会、Jリーグやなでしこリーグの公式戦、日本陸上競技選手権大会など国内最高レベルの大会が開催されていますが、さらに魅力のあるスポーツイベントの開催に努め、熊谷の魅力を発信していくため、現在は、世界の三大スポーツイベントである「ラグビーワールドカップ2019」招致の取組を進めています。

このようにスポーツ環境が整い、年間を通して、様々なスポーツシーンが繰り広げられるまち「熊谷」の特長を活(い)かし、これからも「熊谷市スポーツ振興基本計画」に基づいた、スポーツの魅力で躍動する、活力あるまちづくりを推進する必要があります。



熊谷さくらマラソン大会



熊谷めぬま駅伝大会

基本方針

市民が進んでスポーツやレクリエーション活動に親しみ、「実践」するための情報や機会の提供と併せ、市民・団体・企業のそれぞれの階層レベルにおいて、その特長を活(い)かした「応援」、「協力」の取組が可能なスポーツの場づくりに努め、スポーツによる活力あるまちづくりを進めます。

施策の体系

スポーツによるまちづくりを推進する ―― ３　スポーツによるまちづくりを推進する

単位施策

３　スポーツによるまちづくりを推進する

市民が進んでスポーツを実践するための情報や機会の提供と併せ、スポーツを支援する環境をつくります。

主な事業

・スポーツ・レクリエーション団体等の支援
・ライフステージに応じたスポーツ活動の機会の拡充
・大規模スポーツ大会の招致
・スポーツボランティアの育成
・ラグビーワールドカップ2019招致
・スポーツ・文化村の整備・利用促進

成　果　指　標	前期基本計画策定時の現状値	前期めざそう値	現　状　値	後期 めざそう値（前期基本計画でのめざそう値 10 年後）
スポーツ活動を「実践」している市民の割合	39%	50%	34%	55%（55%）
市民・団体・企業が協力する全国レベルの大会数	―	―	3	6



全国高等学校選抜ラグビーフットボール選手権大会



選抜高校女子サッカー大会“めぬまカップ”in 熊谷